県立大学同窓会運営委員会議事録(H28.3.20)

平成28年3月20日(日)

16：00～18：00

参加者：大曽根、森田、赤間、佐々木悠、黒川、中島、加藤勝

議題

１．定例会について

(1) 課題

・スケジュールの決定が遅い

・参加人数が減ってきている

・総務の負担が大きい(仕事を下におろしてほしい)

・参加者の意見を反映させる方法が必要、改めてそれぞれの委員が児年度も委員をやるか意向確認が必要ではないか、

(2) 改善（案）　☆は決定事項

☆基本は第四日曜日に開催。５月以降、開催時間は10～12時とする。

☆２ヶ月前に定例会の開催の有無を決める(例：４月の会議であれば２月の会議で開催の是非を確認する)。

☆委員は会議の出欠を２週間前に必ず入力する。

・係(企画・広報等)とは別に小グループ編成を取り入れ、各イベントに担当を振り分ける。係の編成を見直し、小グループは次回の定例会で決めたい。黒川は企画・総務を兼任する。

・定例会は全員が参加するのではなく、「各小グループから２名ほどを必ず出席させるという決まり」を設ける。委員の負担軽減＆それそれの責任意識を高めることを狙いたい。もちろん、出れる人は出て良い。

・司会や記録は必ず総務がやるのではなく、小グループに委ねても良いこととする。

・LINEのノートを活用し、欠席者の意見を反映させる。それぞれが発信の意識を改めて持つ。

・準備委員の人選も改める(意向確認)。また、若い世代のリクルート活動はなんとかしなくてはいけない。ゆくゆくは大学教授から推薦させることはできないものか。

２　その他

・学科によって教員の協力体制が異なっている。我々は私的な時間を削って同窓会を運営しているので、学校側にどこまでができてどこまでができないか、主張すべきではないか。

・同窓会の新規入会者が減ってきている。同窓会に入会したメリットがわかるような広報をしたい(入会案内時に掲示できるような物を作成する等)。

・就職説明会やOC、卒業式等のイベントは、総務側で必要な人員数を定めた上、参加者を募り、必要以上に委員を参加させないようにしてもらいたい。

３　次回（４月24日）の議題

　　・就職説明会について

　　・係編成、小グループ編成の見直し

　　・HPについて